JVC

取扱説明書

CDレシーバー

型名 KD-SHX929

デモ表示について

本機にはデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。
解除方法など詳しくは***46***、***48***ページの「PSMメニューの機能説明」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。***52***ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧になり、本体に取り付けてください。

– お買い上げありがとうございます –

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」と別冊の「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1257-001A

もくじ

ページ

- 安全上のご注意 .... 3〜5
- 使用上のご注意 .... 6〜7
  - CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて ... 7
  - CDのお手入れ ... 7
- コントロールパネルの使いかた ... 8〜9
  - 各部の名前 ... 8
  - メニューについて ... 9
- リモコンの使いかた ..... 10〜11
  - 使用上の注意 ... 10
  - 電池の入れかた ... 10
  - 各部の名前 ... 11
- 基本操作 ... 12
- 時計を合わせる ... 13
- ラジオを聞く ... 14〜19
  - 放送局を選ぶ ... 14
  - アンテナリモートについて ... 14
  - 電波の弱い放送局を飛ばして選局する ... 15
  - FM放送が雑音で聞きにくいときは 15
  - IFフィルターを切り換える(FM放送のみ) ... 16
  - 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ... 16
  - 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ... 17
  - 放送局を呼び出す(プリセット選局) ... 18
  - 放送局リストから選局する ... 18
  - 道路交通情報を聞く ... 19
  - 放送受信中の表示内容を変える ... 19
- 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く ... 20〜27
  - MP3/WMAディスクについて ... 20
  - CD-R/CD-RWディスクについて ... 21
  - CDテキストについて ... 21
  - ディスク挿入後の表示について ... 21
  - 早送り/早戻しをする(サーチ) ... 22
  - 頭出しをする(スキップ) ... 22
  - リモコンでダイレクトに選曲する ... 22
  - MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序 ... 23
  - 次または前のフォルダにスキップする ... 23
  - プレイリストを見ながら選ぶ ... 24
  - リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ ... 25
  - いろいろな再生モードを使用する 25
  - ディスク演奏中の表示内容を変える ... 26
  - ミュージックリンクについて ... 27
  - ディスクの盗難防止 ... 27
  - ディスクの強制取り出し ... 27
- CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く ... 28〜31
  - 全曲演奏(全CDのくり返し演奏) 28
  - CD演奏中の表示内容を変える ... 28
  - 早送り/早戻しをする(サーチ) ... 29
  - 頭出しをする(スキップ) ... 29
  - 次または前のフォルダにスキップする ... 29
  - 演奏するディスクを選ぶ ... 29
  - プレイリストを見ながら選ぶ ... 30
  - いろいろな再生モードを使用する ... 31
- 他の機器の音を聞く ... 32
- 画像データをダウンロードする ... 33〜38
  - ダウンロードをする前に ... 33
  - 画像データをダウンロードする ... 35
  - 画像を削除する ... 36
  - ダウンロードした画像を表示する ... 38
- 音質の調節 ... 39〜41
  - DSPモードを選ぶ ... 39
  - DSPの音場について ... 39
  - DSPモードを詳細に調節する ... 40
  - CCコンバーターを使う ... 41
  - BBEを使う ... 41
- iEQの使いかた ... 42〜43
  - EQパターンを選ぶ ... 42
  - 調節したEQを記憶(メモリー)する ... 43
- 音量の調節 ... 44〜45
  - スピーカーの音量を調節する ... 44
  - サブウーハーの音量を調節する ... 45
  - ソース(音源)ごとの音量差を調節する ... 45
- PSMの各種設定と調節 ... 46〜49
  - PSMメニューの設定方法 ... 46
  - PSMメニューの一覧 ... 47
  - PSMメニューの機能説明(1) ... 48
  - PSMメニューの機能説明(2) ... 49
- 文字の入力のしかた ... 50

ページ

- コントロールパネルの角度を変える ... **51**
- コントロールパネルの着脱..... **52**
  - ・コントロールパネルを外す................. 52
  - ・コントロールパネルを取り付ける 52
- 放送局名一覧.................. **53〜56**
- 故障かな？と思う前に .. **57〜59**
  - ・こんな表示のときは 58

ページ

- 保証とアフターサービス **60**
- 主な仕様 **61**
- 文字配列表................................ **62**
- 索引 **63**
- お手入れ .... **裏表紙**
  - ・本体の清掃...................................... 裏表紙

安全上のご注意 －はじめにお読みください－

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

安全上のご注意（つづき）－はじめにお読みください－

⚠警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24Ｖ車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。

・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。

・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。

・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。

・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。

・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。

・万一、故障や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど）が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。

・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。

・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。

・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。

・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。

・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。

手をはさまれないよう注意

・けがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。

・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。

・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。

・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。

・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

- **本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車には使用できません。**

- **スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω〜8Ωのものをお使いください。**

- **安全運転のために…**

・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- **車内の温度は…**

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後にCDを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃〜+40℃)

- **有機ELパネル(表示窓)について**

本機の表示窓は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、ほんのわずか画素欠けがある場合があります。あらかじめご了承ください。

- **バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。**

- **結露(つゆつき)について**

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。
・**エアコン(暖房)を入れた直後**
・**湿気が多いとき**
このようなときは、電源を入れたまま約1〜2時間待ってからお使いください。

- **海外での使用は…**

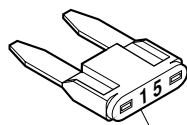
本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

- **スピーカーコードの接続について**

本機はBTL(ビーティーエル)*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず**別冊の取付説明書**の通りにしてください。
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖(マイナス)側が車の金属部に接続されていたり、⊖(マイナス)側同士が接続されていると故障の原因になります。

***BTL:Balanced(バランスド) Transformerless(トランスフォーマーレス)の略**
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

- **ヒューズの交換について**

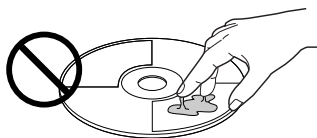
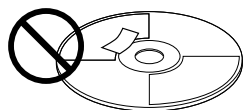
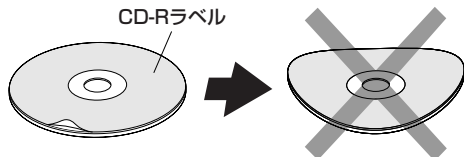
本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

ヒューズ(15A)

- **携帯電話を使用する場合は…**

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

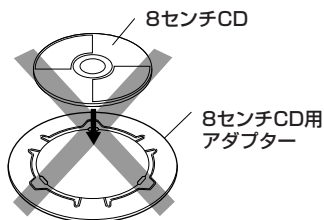
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
  専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
  CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **次のようなCDは使用しないでください。本体内部にCDが張り付いて取り出せなくなったり、大切なCDが反って音飛びしたりCDに傷がつく原因となります。**

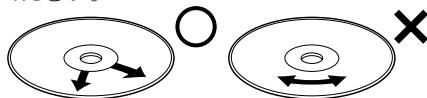
  ・中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。
  またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの

  ・レンタルCDでシールが張ってあるもの（特にめくれているもの）

  ・記録面に保護シールなどを張ってあるもの
  ・ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

  CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

  ・ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R（印刷したもの）

※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
  円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
  8センチCDは、そのまま挿入してください。

- **CDを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふく。　**連続したキズは音飛びの原因になります。**

- **シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。**

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

ー( )内のページに説明があります。ー

1 ≜(CD取出し)ボタン (***20***、***27***)
CDを取り出すときや挿入するとき「ポン」と押します。

≑(アングル切り換え)ボタン (***51***)
1秒以上押すと、コントロールパネルの角度切換表示が表示されます。

2 リモコン受光部 (***10***)

3 TI(交通情報)ボタン (***19***)
交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)を聞くとき押します。

4 SOURCEボタン (***12***、***14***、***28***、***32***)
演奏するソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに、ソース(音源)が次のように切り換わります。

*1 本機にディスクが入っているとき選べます。

*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。

5 ∨⏮/⏭∧ボタン
ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	∨⏮/⏭∧ ボタン
「CD」 「CD-CH (チェンジャー)」	・押し続けると早戻し/早送り演奏になります。 ・「ポン」と押すと曲(ファイル)の頭出しができます。
「TUNER (ラジオ)」	・「ポン」と押すとオート選局になります。 ・押し続けると、マニュアル選局になります。

メニュー表示中はメニューの項目を選択するとき押します。

6 表示窓(ディスプレイ)

7 リセットボタン
内蔵のマイコンをリセットするとき押します。
・初めて電源を入れたとき
・どのボタンを押しても動作しなくなったとき

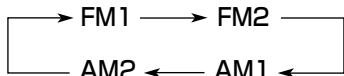
8 ボリューム +/ーボタン (***12***)
・ボリュームを調節するとき押します。

9 ⏻/I 電源ボタン (***12***)
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン (***12***)
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。

⑩ **DISP(ディスプレイ)ボタン (*19*、*26*、*50*)**
表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。

BACKボタン (*13*、*24*、*30*)
メニュー画面を使った操作などで、前の手順に戻るとき押します。

⑪ **BANDボタン (*14*、*16*、*18*)**
ラジオのバンドを切り換えるとき押します。押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

OKボタン (*13*、*15*〜*17*)
メニュー画面を使った操作で、選んだ項目を決定するとき押します。

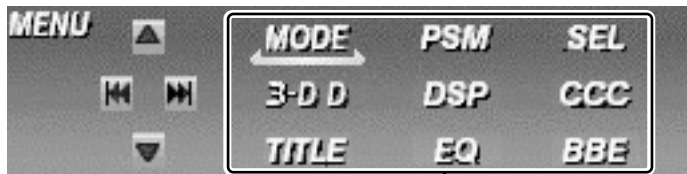
⑫ **MENU(メニュー)ボタン**
メインメニュー画面を表示するとき押します。

⑬ **▲/▼ボタン**
MP3/WMAディスクのフォルダや、ラジオのプリセットされた放送局を選ぶとき押します。(***17***、***18***、***23***、***24***、***29***)
メニュー表示中はメニューの項目を選択するとき押します。

⑭ **▲(コントロールパネル取り外し)ボタン (*52*)**
コントロールパネルを取り外すとき押します。

メニューについて

MENUボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。メインメニューからさらにサブメニューを選び、いろいろな機能の設定や調節をすることができます。

メインメニュー画面

サブメニュー

・サブメニュー項目

MODEメニュー:
ラジオの受信モードやディスクの再生モードを設定します。(***15***、***16***、***25***、***31***ページ)

PSMメニュー:
時刻など各種の設定をします。
(***13***、***38***、***46***ページ)

SELメニュー:
音量の設定をします。(***44***、***45***ページ)

3-D Dメニュー:
画像のダウンロードや画像の削除をします。
(***35***〜***38***ページ)

DSPメニュー:
DSP機能の設定をします。(***39***ページ)

CCCメニュー:
CCコンバーターの設定をします。(***41***ページ)

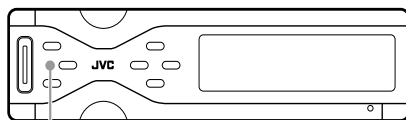
TITLEメニュー:
文字入力をします。(***50***ページ)

EQメニュー:
イコライザーの設定をします。(***42***ページ)

BBEメニュー:
BBEの設定をします。(***41***ページ)

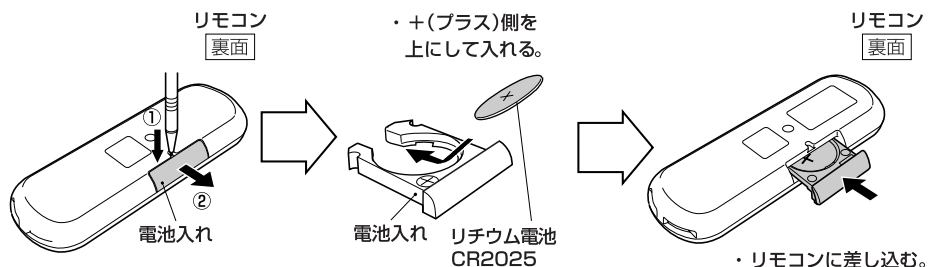
リモコンの使いかた

使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- **リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025: 市販品)と交換してください。**

ご注意

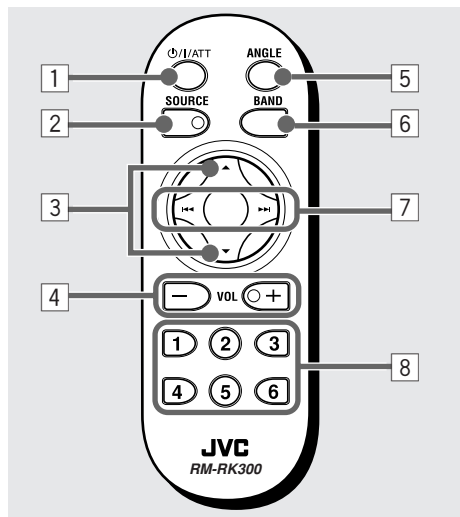
- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

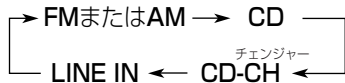
ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。

● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名前

1 ⏻/I 電源ボタン
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。

2 SOURCE(ソース)ボタン
ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに、次のようにソース(音源)が切り換わります。

FMまたはAM:
FM放送またはAM放送を聞くとき選びます。前回選んでいた放送局が選ばれます。FM/AMを切り換えるときは、BAND(バンド)ボタンを使います。

CD: CD/MP3/WMAディスクを聞くとき選びます。ディスクが入っていないときは、選べません。

CD-CH:
CDチェンジャー内のCDを聞くとき選びます。CDチェンジャーを接続しているとき選べます。

LINE IN:
本機に接続した外部機器の音声を聞くとき選びます。

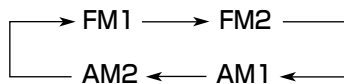
3 ▲/▼ボタン
「FM」または「AM」のとき:
プリセットしてある放送局の選局ができます。

MP3/WMAディスクのとき:
演奏するフォルダが選べます。

(メニューの項目を選ぶ機能はありません)

4 VOL(ボリューム)+/−ボタン
音量の調節ができます。

5 ANGLE(アングル)ボタン
コントロールパネルの角度を調節することができます(Angle 1〜Angle 4)。

6 BAND(バンド)ボタン
ラジオのバンドを選ぶとき使います。押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

7 ⏮/⏭ボタン
「FM」または「AM」のとき:
「ポン」と押すとオート選局、1秒以上押しつづけるとマニュアル選局ができます。

「CD」、「CD-CH(チェンジャー)」または MP3/WMAディスクのとき:
曲(ファイル)の頭出しや早戻し、早送りができます。

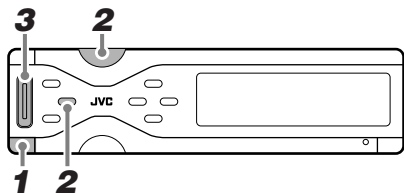
(メニューの項目を選ぶ機能はありません)

8 数字ボタン
「FM」または「AM」のとき:
放送局のプリセットやプリセットした放送局の選局ができます。

「CD」のとき:
- 音楽CDの場合
  曲が直接選べます。
- MP3/WMAディスクの場合
  フォルダが直接選べます。

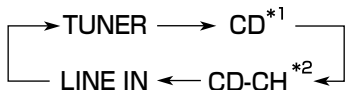
「CD-CH(チェンジャー)」のとき:
CD(MP3ディスク)が直接選べます。

基本操作

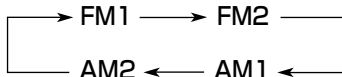
準備 ● 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。

1 ⏻/I/ATT を押して電源を入れる

表示窓が点灯し、電源を切る前のソース（音源）…お買い上げ時はTUNER（ラジオ）の「FM1」…が表示されます。

2 SOURCE を押してソース（音源）を選ぶ

押すごとに、ソース（音源）が次のように切り換わります。

*1 本機にCDが入っているとき選べます。
*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。

OK BAND ：ラジオのバンドを切り換えるとき押します。

押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

3 を押して音量を調節する

「+」側を押すと音量が大きくなります。

・ 調節範囲
Volume 0～Volume 50
（初期設定 Volume 15）

● 音量を一時的に下げる

⏻/I/ATT を「ポン」と押します。

「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● 本機でコントロールできるチェンジャーについて

・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
・CH-XシリーズのCDチェンジャー（CH-X99を除く）

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

● 電源を「切」にする

⏻/I/ATT を1秒以上押します。

● 次のボタンは、車のエンジンキーが「OFF」でも操作ができます。

≜/⏏ ：≜（CD取出し）ボタン
CDの出し入れ

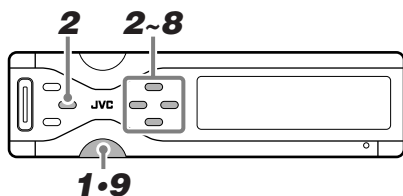
：▲（コントロールパネル取り外し）ボタン

ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

● スピーカーの音量調節は**44**ページをご覧ください。

時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。20秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して「PSM」を選び、OK (BAND) を押す

PSMメニューが表示されます。

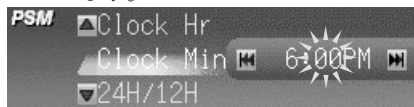
3 ▲ または ▼ を押して「Clock Hr（クロック アワー）」を選ぶ

4 ◀ または ▶ を押して「時」を合わせる

◀ :「時」を戻す

▶ :「時」を進める

5 ▼ を押して「Clock Min（クロック ミニッツ）」を選ぶ

- BACK (DISP) を押すとメインメニューに戻ります。

6 ◀ または ▶ を押して「分」を合わせる

◀ :「分」を戻す

▶ :「分」を進める

7 ▼ を押して「24H/12H」を選ぶ

8 ◀ または ▶ を押して時間方式を選ぶ

◀ または ▶ を押すごとに時間方式が次のように切り換わります。

12Hours ←→ 24Hours
（12時間表示） （24時間表示）

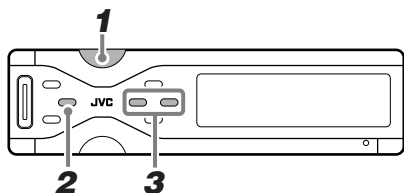
9 MENU を押す

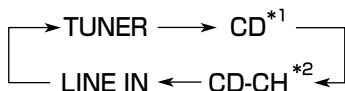
元のソース（音源）の表示に戻ります。
MENUボタンを押さないときは、20秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1～9の操作をします。
- PSMメニューを使ってその他の設定を変更したいときは、***46***～***49***ページをご覧ください。

ラジオを聞く

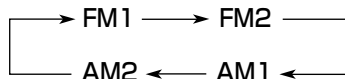
放送局を選ぶ

1 SOURCE を押してソース(音源)を「TUNER」にする

ボタンを押すごとに、ソース(音源)が切り換わります。

*1 本機にCDが入っているとき選べます。
*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。

現在のバンドが表示されます。例: FM1のとき

周波数と放送局名が表示されます。

2 OK BAND を押してバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、バンドが切り換わります。

リモコンで操作する

BAND を押します。

3 ∨⏮ または ⏭∧ を押して選局する

周波数が下がります。 ∨⏮ ／ ⏭∧ 周波数が上がります。

- **オート選局(シーク)**:
  「ポン」と押して離す。
  「Auto Search」と表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**:
  1秒以上押して「Manual Search」を表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。
  - FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作する

⏮/⏭ボタンを使います。

〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、もう一度∨⏮または⏭∧ボタンを押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源 コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「CD」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。
  (アンテナコントロール電源 コードの最大コントロール電流は250mAです)

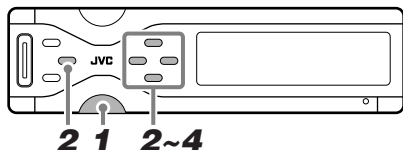
電波の弱い放送局を飛ばして選局する

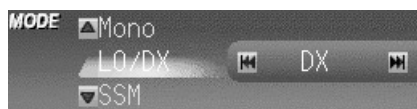
電波が弱く、雑音などが多くて聞きづらいFM放送局を受信しないようすることができます。

- オート選局(➡ *14*ページ)と組み合わせて使うと便利です。

1 FM放送受信中に MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 を押して「MODE」を選び、OK BAND を押す

MODEメニューが表示されます。

3 または を押して「LO/DX」を選ぶ

4 または を押して「Local」を選ぶ

Local（ローカル）：電波の弱いFM放送局を飛ばして受信します。通常の表示に戻ると表示窓に「LO」が表示されます。

DX：電波の弱いFM放送局も受信します。通常の表示に戻ると表示窓に「DX」が表示されます。

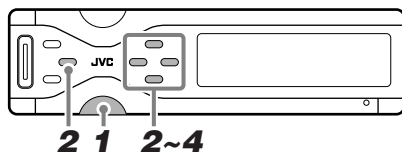
もう一度MENUボタンを押すか、または20秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切り換えます。

1 FM放送受信中に MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 を押して「MODE」を選び、OK BAND を押す

MODEメニューが表示されます。

3 または を押して「Mono」を選ぶ

4 または を押して「On」を選ぶ

On（オン）：FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。通常の表示に戻ると表示窓に「MO」が表示されます。

Off（オフ）：FM放送はステレオ受信になります。通常の表示に戻ると表示窓に「ST」が表示されます。

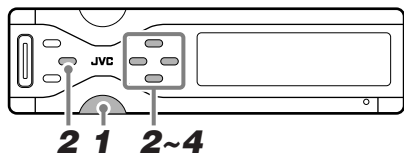
もう一度MENUボタンを押すか、または20秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

ラジオを聞く(つづき)

IFフィルターを切り換える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切り換えています。

1

を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ **を押して「PSM」を選び、**OK BAND**を押す**

PSMメニューが表示されます。

3 ▲ **または** ▼ **を押して「IF Filter」を選ぶ**

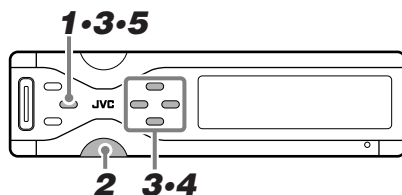
4 ◀ **または** ▶ **を押して設定を変更する**

Auto(オート)：隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。

Wide(ワイド)：通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。

1 放送受信中にOK BAND**をくり返し押してバンドを選ぶ**

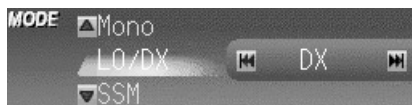
バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

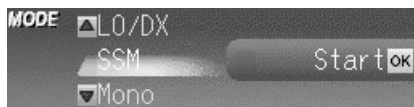
例：FM1のとき

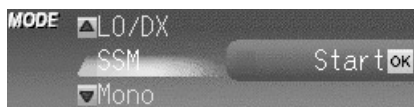
2 MENU **を押す**

メインメニューが表示されます。

3 ▲ ▼ ◀ ▶ **を押して「MODE」を選び、**OK BAND**を押す**

MODEメニューが表示されます。

17ページの手順**4**に進んでください。

4 ▲ または ▼ を押して「SSM」を選ぶ

AM放送のときは「SSM」のみ表示されます。

5 OK/BAND を押す

自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでの**FM**放送局をプリセット番号の1～6に記憶していきます。

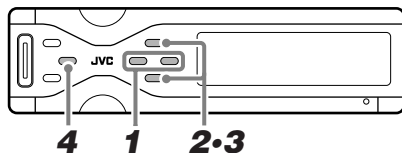
TUNER FM1 Preset1
No Name
FLAT DX 80.0 MHz

すべての記憶が終わると、プリセット番号の「**1**」に記憶された放送局が表示されます。

〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。初めてこの操作を行った場合は、出荷時の設定が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます(➡ ***18***ページ)。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、記憶してあった放送局は取り消され、初期設定に戻ります。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 ∨|◀◀ または ▶▶|∧ を押してプリセットしたい放送局を選局する

「放送局を選ぶ」(➡ ***14***ページ)をご覧ください。

2 ▲ または ▼ を1秒以上押す

プリセットされた放送局のリストが表示されます。

FM1 >① 80.0 ④ 82.5
Preset OK ② 81.3 ⑤ Rock
Change OK ③ MHH ⑥ POP

3 ▲ または ▼ を押してプリセット番号を選ぶ

4 OK/BAND を2秒以上押す

「Preset X」(Xはプリセット番号)が点滅表示され、放送局が記憶されます。

リモコンで操作する

プリセットしたい放送局を選局して、プリセットしたい番号の数字ボタン(1～6)のいずれかを2秒以上押します。

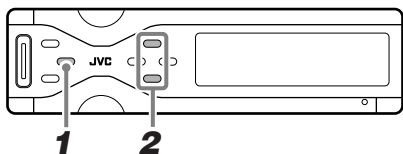
1 2 3

4 5 6

〈お知らせ〉

- OKボタン(またはリモコンの数字ボタン)は必ず2秒以上押し続けてください。短いと記憶されません。

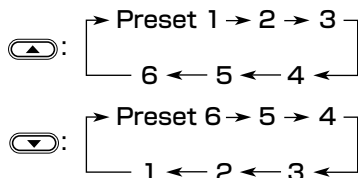
ラジオを聞く(つづき)

放送局を呼び出す(プリセット選局)

1 放送受信中に[OK BAND]をくり返し押してバンドを選ぶ

2 [▲]または[▼]を押して選局する

ボタンを押すごとにプリセットされている放送局が選べます。

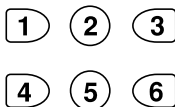
[▲]: → Preset 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 →(Preset 1に戻る)

[▼]: → Preset 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1 →(Preset 6に戻る)

リモコンから直接放送局を呼び出す

リモコンの数字ボタン(1～6)で、プリセットされている放送局をワンタッチで選局することができます。

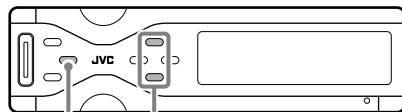
1 数字ボタン(1～6)のいずれかを押して選局する

[1] [2] [3]

[4] [5] [6]

〈お知らせ〉

- 数字ボタンは2秒以上押し続けないでください。

放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することもできます。

1 放送受信中に[OK BAND]をくり返し押してバンドを選ぶ

2 [▲]または[▼]を1秒以上押す

選んだバンドの放送局リストが表示されます。

FM1 >① 80.0 ④ 82.5
Preset OK ② 81.3 ⑤ Rock
Change OK ③ MHH ⑥ POP

[◁◁]または[▷▷]を押すごとにバンドが切り換わります(FM放送の場合は、「FM1」↔「FM2」)。
AM放送とFM放送は切り換わりません。

3 [▲]または[▼]を押して選局する

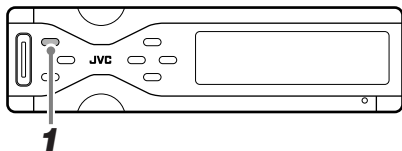
4 [OK BAND]を押す

10秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 放送局リストでは、「PSMの各種設定と調節」の操作で「St. Area」の「ご利用の地域」を設定したときは、周波数表示の代わりに放送局名が表示されます(➡ ***49***ページ)。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。

1 TIを押す

聞きたいところでTIボタンを押すと、ソース（音源）に関係なくAM1620kHzが受信できます。

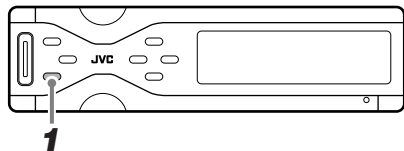
AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

⏮ または ⏭ を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース（音源）に戻すときは：
もう一度TIを押します。

〈お知らせ〉

- AM1620kHzまたは1629kHzに放送局名が入力されているとき（➡ ***50***ページ）は、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、入力した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース（音源）とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。
  もう一度TIボタンを押して元のソース（音源）に戻すと、音量も元に戻ります。

放送受信中の表示内容を変える

1 BACK DISPを押す

ボタンを押すごとに、次のように受信中の表示が切り換わります。
例: FM1のとき

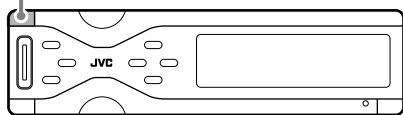
セミグラフィック表示

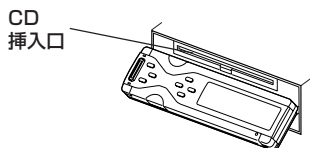
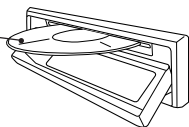
フルスクリーングラフィック表示

〈お知らせ〉

*1 DSP（➡ ***39***ページ）、EQ（➡ ***42***ページ）、CCC（➡ ***41***ページ）、BBE（➡ ***41***ページ）の順に、それぞれの項目の現在の設定がくり返し表示されます。

*2 ***46***、***49***ページの「PSMの各種設定と調節」の操作で「St. Area」の「ご利用の地域」を設定したときは、受信した放送局の局名が表示されます。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く

1 ▲/≜ (CD取出し)を押す

コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。

2 CDを入れる

途中まで入れると「ピッ」音の後、CDが自動で中に引き込まれます。
コントロールパネルが元の位置に戻り、ソース(音源)が「CD」になり演奏が始まります。
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

を押してCDを取り出すか、SOURCEボタンを押してソース(音源)を切り換えます。

● 8センチCDの入れかた
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。

〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「CD Play」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ▲(CD取出し)ボタンを押すとCDが出てきます。このときCDを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで演奏できます。
- ルートとは、現在開いているMP3/WMA*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

* WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルが演奏できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては演奏できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して演奏できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

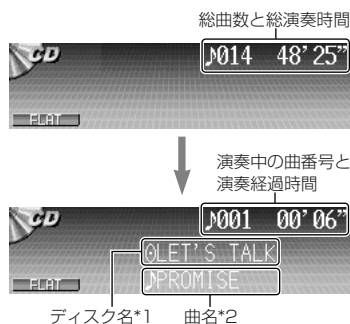
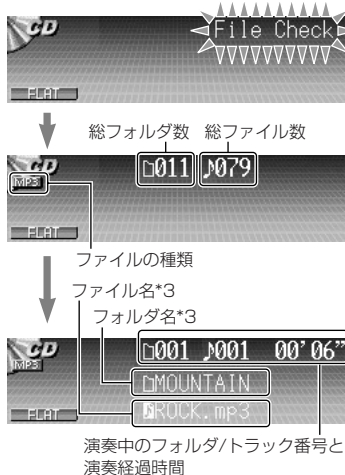
〈お知らせ〉

- 全角文字は全角で、半角文字は半角で表示されます。
（シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません）

CDテキストについて

本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると、アルファベットや数字および漢字で「CDテキスト」データを表示します。

ディスク挿入後の表示について

- 音楽用CDのとき

- MP3/WMAディスクのとき

〈お知らせ〉

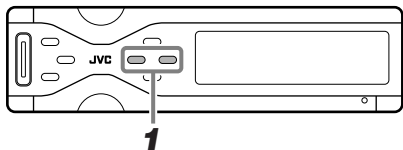
＊1 ディスク名を入力したCDまたはCD TEXTで表示されます。入力前は「No Name」と表示されます。ディスク名の入力については50ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。

＊2 曲名はCD TEXTのみ表示されます。

＊3 Tagのあるファイルのときは、ID3 Tag設定をOnにするとアルバム/演奏者名とトラック名が表示されます（➡ ***49***ページ）。Tagがない場合は「No Name」と表示されます。

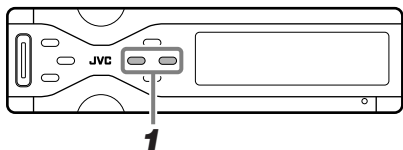
音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く（つづき）

早送り/早戻しをする（サーチ）

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1　∨⏮ または ⏭∧ を押し続ける

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする（スキップ）

前後の曲（ファイル）の頭にスキップすることができます。

1　∨⏮ または ⏭∧ を押す

ボタンを押すごとに前後の曲（ファイル）の頭に移動します。

現在の曲の頭または、前の曲の頭に移動します。

次の曲の頭に移動します。

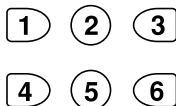
リモコンでダイレクトに選曲する

音楽用 CD のみ

リモコンの数字ボタンを使って、聞きたい曲がダイレクトに選べます。

1　リモコンの数字ボタン（1〜6）を押す

1　2　3

4　5　6

- **1〜6曲目**を選ぶときは、数字ボタンの1〜6のいずれかを「ポン」と押します。

  例：3曲目を選ぶ

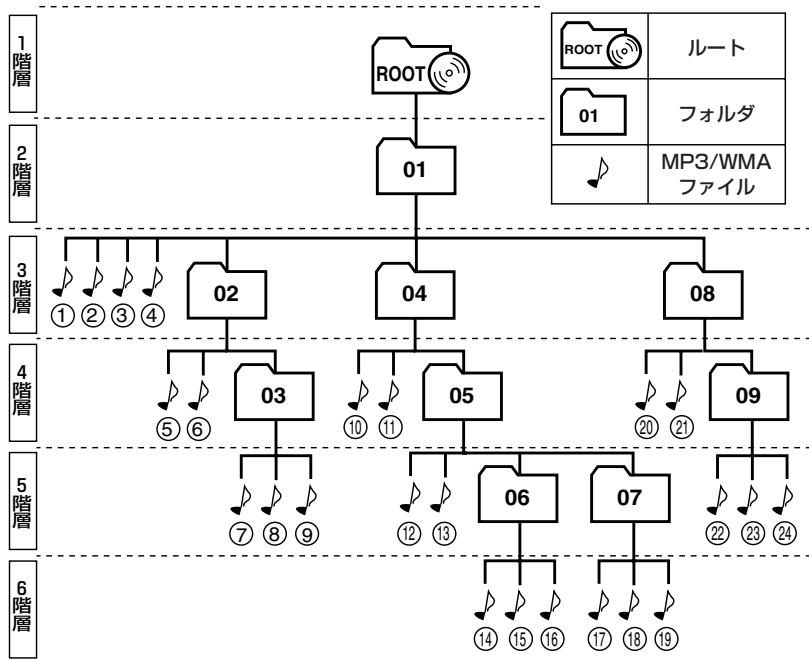
  3 を「ポン」と押します。

- **7〜12曲目**を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。1〜6がそれぞれ7〜12にあたります。

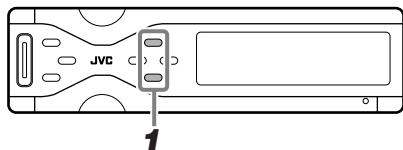
  例：12曲目を選ぶ

  6 を1秒以上押します。

- **13曲目以上**を選ぶときは、⏭ボタンを使います。

MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序

次または前のフォルダにスキップする

MP3/WMA ディスクのみ

ディスク内のフォルダの演奏順序(例として、上の図の「01」、「02」、「03」…)に従って、フォルダを選ぶことができます。

1 ⏶ または ⏷ を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

〈お知らせ〉

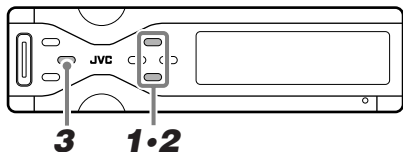
- MP3/WMAディスクの場合、最後のフォルダ(上の図の例では「09」)まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(上の図の例では「01」)に戻ります。
  また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く（つづき）

プレイリストを見ながら選ぶ

MP3/WMA ディスクのみ

演奏中のMP3/WMAディスクのフォルダ名やファイル名をリストを見ながら選ぶことができます。

・ フォルダを選ぶとき

1 ▲ または ▼ を1秒以上押してリストを表示させる

フォルダ名のリストが表示されます。

フォルダは最大6つまで表示されます。
7つ目以降のフォルダは、∨I◀◀ または ▶▶I∧ を押して表示させます。

2 ▲ または ▼ を押してフォルダを選ぶ

1MOUNTAIN 401 POPS
2SUMMER >502 80'S
Enter OK 3ROCK M 603 90'S

3 OK/BAND を押す

選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

・ 演奏中のフォルダからファイルを選ぶとき

1 ▲ または ▼ を1秒以上押してリストを表示させる

フォルダ名のリストが表示されます。

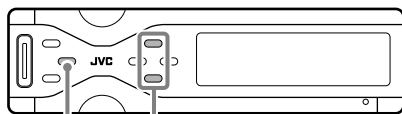
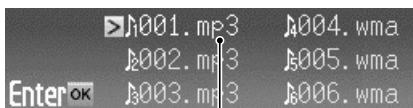
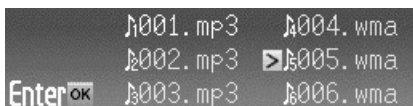
2 OK/BAND を押す

ファイル名のリストが表示されます。

ファイルは最大6つまで表示されます。
7つ目以降のファイルは、
∨I◀◀ または ▶▶I∧ を押して表示させます。

BACK/DISP を押すとフォルダリストに戻ります。

3 ▲ または ▼ を押してファイルを選ぶ

001.mp3 004.wma
002.mp3 >005.wma
Enter OK 003.mp3 006.wma

4 OK/BAND を押す

選んだファイルの演奏が始まります。

リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ

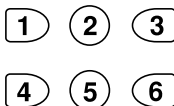
MP3/WMA ディスクのみ

リモコンの数字ボタンを使って、聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。

1 リモコンの数字ボタン(1～6)を押す

1 2 3

4 5 6

・ **1～6番目のフォルダ**を選ぶときは、数字ボタンの1～6のいずれかを「ポン」と押します。

例: フォルダ名「03ABC」を選ぶ

3 を「ポン」と押します。

フォルダ「**03ABC**」の最初のファイルの演奏が始まります。

・ **7～12番目のフォルダ**を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。1～6がそれぞれ7～12にあたります。

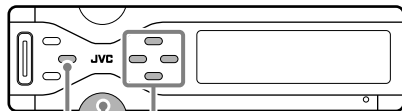
例: フォルダ名「12WXYZ」を選ぶ

6 を1秒以上押します。

フォルダ「**12WXYZ**」の最初のファイルの演奏が始まります。

〈お知らせ〉

● 選んだフォルダに**MP3/WMA**ファイルが含まれないときは「**No Music**」と表示され、演奏が始まりません。

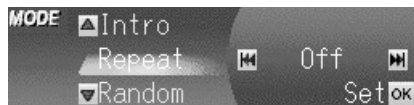
いろいろな再生モードを使用する

演奏中に、リピート演奏、ランダム演奏、イントロスキャンのうち１つのモードを選んで再生できます。

・ 再生モードの選びかた

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 を押して「MODE」を選び、OK BAND を押す

MODEメニューが表示されます。

3 または を押して再生モードを選ぶ

Repeat	：	曲(ファイル)をくり返し演奏します。
Random	：	曲(ファイル)をランダムに演奏します。
Intro	：	曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏します。

26ページに続く

いろいろな再生モードを使用する（つづき）

4 ⏮ または ⏭ を押して再生モードの項目を選ぶ

● リピート演奏の設定

- Track: 演奏中の曲(ファイル)をくり返し演奏します。表示窓に「♪RPT」が表示されます。
- Folder*: 演奏中のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏します。表示窓に「□RPT」が表示されます。
- Off: リピート演奏を解除します。

● ランダム演奏の設定

- Folder*: 演奏中のフォルダ内の全ファイルをランダムに演奏します。表示窓に「□RND」が表示されます。
- Disc: CD内の全曲(ファイル)をランダムに演奏します。表示窓に「⊙RND」が表示されます。
- Off: ランダム演奏を解除します。

● イントロスキャンの設定

- Track: CD内の全曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏します。表示窓に「♪INT」が表示されます。
- Folder*: 演奏中の全フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏します。表示窓に「□INT」が表示されます。
- Off: イントロスキャンを解除します。

・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、⏮ボタンを押します。

・一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

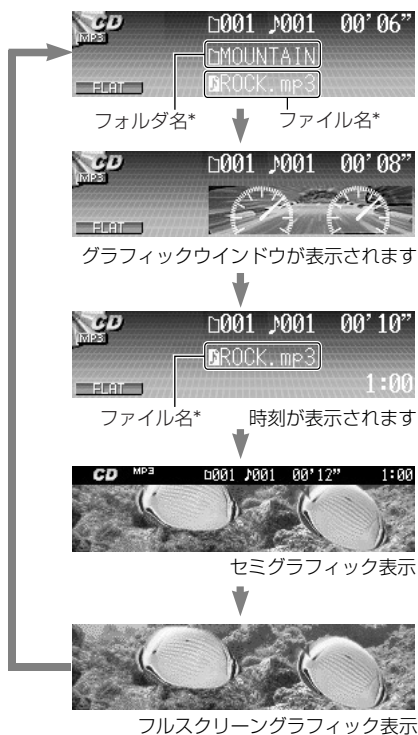
5 OK BAND を押す

選んだ設定で演奏が始まります。

* 「Folder」を選べるのはMP3/WMAディスクの演奏中のみです。

ディスク演奏中の表示内容を変える

1 BACK を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

* MP3/WMAディスクの場合です。
Tagのあるファイルのときは、ID3 Tag設定をOnにするとアルバム/演奏者名とトラック名が表示されます（➡ ***49***ページ）。Tagがない場合は「No Name」と表示されます。
音楽用CDの場合、ディスク名と曲名が表示されます（➡ ***21***ページ）。

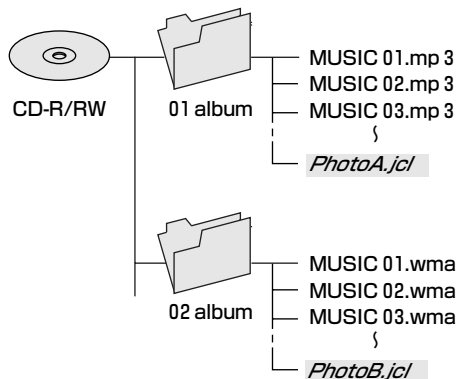
27ページに続く

〈お知らせ〉

- 自分で作った画像をスクリーングラフィックに使うことができます。スクリーングラフィックの変更については***38***ページの「ダウンロードした画像を表示する」をご覧ください。
- 半角16文字（全角8文字）を超えると、CD名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを１秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で１回スクロールする設定「Once（ワンス）」（お買い上げ時の状態）になっています。「Auto（オート）」（自動）または「Off」（切）に変えることもできます（➡ ***46***、***48***ページ）。

ミュージックリンクについて

ミュージックリンクは、イメージコンバーターで作成した画像を、お好みの音楽に合わせて表示させる機能です。

MP3/WMAファイル（音楽）とイメージコンバーターで作成した静止画を1点、同じフォルダに保存し、これをCD-R/RWに書き込みます。このフォルダを再生すると、音楽の演奏中にお好みの静止画を本機の表示窓に表示させることができます。

- 同じフォルダに複数の静止画があるときは、初めに表示された静止画のみ表示されます。
- ミュージックリンクの「On/Off」について詳しくは、***48***ページ「PSMメニューの機能説明（1）」の「Demo/Link（デモ/リンク）」をご覧ください。

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。

1 **⏻/I/ATT を押したまま ⏏/⇕ を同時に2秒以上押す**

取り出し禁止の確認画面が表示されます。

```
No Eject?
Emergency Eject?
```

2 **「No Eject?」が明るく表示されているのを確認して OK/BAND を押す**

ディスクの取り出しができなくなります。

⏏（CD取出し）ボタンを押すとCDの挿入口が現れますが、ディスクは出てきません。もう一度同じ操作をすると（「Eject OK?」が明るく表示されているのを確認します）、ディスクの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

ディスクの強制取り出し

通常の操作でディスクが取り出せなくなったとき、強制的に排出させることができます。

1 **⏻/I/ATT を押したまま ⏏/⇕ を同時に2秒以上押す**

確認画面が表示されます。

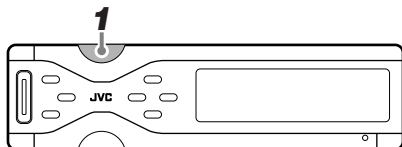
```
No Eject?
Emergency Eject?
```

2 **▽ を押して「Emergency Eject?」を選び OK/BAND を押す**

ディスクが排出されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

準備 ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏（全CDのくり返し演奏）

1 SOURCE を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(➡ ***12***ページ)。

・**音楽用CDのとき**
最初の**CD**の1曲目から演奏が始まります。

選択中のディスク番号

選択中のトラック番号と演奏経過時間

・MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初の**CD**のファイル1から演奏が始まります。

＊ Tagのあるファイルのときは、ID3 Tag設定をOnにするとアルバム/演奏者名とトラック名が表示されます(➡ ***49***ページ)。Tagがない場合は「No Name」と表示されます。

● 演奏を途中でやめる

SOURCEボタンを押して他のソース(音源)に切り換えます。
または電源を「切」にします。

〈お知らせ〉

● **MP3**ディスクの項目は、**MP3**チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。

CD演奏中の表示内容を変える

BACK DISP を押します。

押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります(➡ ***26***ページ)。

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1 [∨I◀◀] または [▶▶I∧] を押し続ける

早戻し演奏になります。

早送り演奏になります。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。

1 [∨I◀◀] または [▶▶I∧] を押す

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

現在の曲の頭または、前の曲の頭に移動します。

次の曲の頭に移動します。

次または前のフォルダにスキップする

MP3 ディスクのみ

1 [▲] または [▼] を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

次のフォルダに移動します。

前のフォルダに移動します。

演奏するディスクを選ぶ

・ 本体から選ぶとき

1 [▲] または [▼] を1秒以上押してリストを表示させる

ディスク名のリストが表示されます。
演奏中のディスクはハイライト表示されます。

```
>①DISC 01   ④DISC 04
 ②DISC 02   ⑤DISC 05
Enter OK ③DISC 03   ⑥DISC 06
```

ディスクは最大6つまで表示されます。
7つ目以降のディスクは、
[∨I◀◀] または [▶▶I∧] を押して表示させます。

2 [▲] または [▼] を押してディスクを選ぶ

3 [OK BAND] を押す

選んだディスクの1曲(ファイル)目の演奏が始まります。

・ リモコンからダイレクトに選ぶとき

1 リモコンの数字ボタン(1~6)を押す

・ **1~6枚目**を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ

[3] を「ポン」と押します。

・ **7~12枚目**を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ

[6] を1秒以上押します。

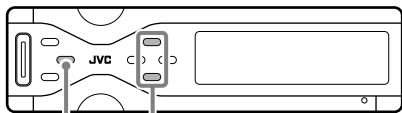
選んだディスクの1曲(ファイル)目の演奏が始まります。

プレイリストを見ながら選ぶ

MP3ディスクのみ

演奏中のMP3ディスクのフォルダ名やファイル名をリストを見ながら選ぶことができます。

- 演奏中以外のMP3ディスクからフォルダやファイルを選ぶときは、そのディスクを演奏中にしてから(➡ **29**ページ)、以下の手順に進んでください。

・ フォルダを選ぶとき

1•3　1•2

1 [▲] または [▼] を1秒以上押してディスク名のリストを表示させ、[OK BAND] を押す

フォルダ名のリストが表示されます。

```
   >1MOUNTAIN  401 POPS
    2SUMMER    502 80'S
Enter OK  3ROCK M     603 90'S
```

フォルダは最大6つまで表示されます。7つ目以降のフォルダは、

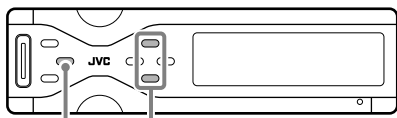
[∨ I◀◀] または [▶▶I ∧] を押して表示させます。

2 [▲] または [▼] を押してフォルダを選ぶ

```
    1MOUNTAIN   401 POPS
    2SUMMER   > 502 80'S
Enter OK  3ROCK M     603 90'S
```

3 [OK BAND] を押す

選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

・ 演奏中のフォルダからファイルを選ぶとき

1•2•4　1•3

1 [▲] または [▼] を1秒以上押してディスク名のリストを表示させ、[OK BAND] を押す

フォルダ名のリストが表示されます。

```
   >1MOUNTAIN  401 POPS
    2SUMMER    502 80'S
Enter OK  3ROCK M     603 90'S
```

2 [OK BAND] を押す

ファイル名のリストが表示されます。

```
   >♪001.mp3   ♪004.mp3
    ♪002.mp3   ♪005.mp3
Enter OK  ♪003.mp3   ♪006.mp3
```

演奏中のファイル名

ファイルは最大6つまで表示されます。7つ目以降のファイルは、

[∨ I◀◀] または [▶▶I ∧] を押して表示させます。

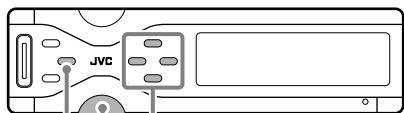
[BACK DISP] を押すとフォルダリストに戻ります。

3 [▲] または [▼] を押してファイルを選ぶ

```
    ♪001.mp3   ♪004.mp3
    ♪002.mp3  >♪005.mp3
Enter OK  ♪003.mp3   ♪006.mp3
```

4 [OK BAND] を押す

選んだファイルの演奏が始まります。

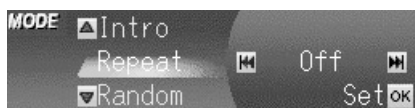
いろいろな再生モードを使用する

演奏中に、リピート演奏、ランダム演奏、イントロスキャンのうち1つのモードを選んで再生できます。

・ 再生モードの選びかた

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 (▲)(▼)(◁ I◀◀)(▶▶I ▷) を押して「MODE」を選び、OK BAND を押す

MODEメニューが表示されます。

3 (▲) または (▼) を押して再生モードを選ぶ

Repeat ： 曲(ファイル)をくり返し演奏します。
Random ： 曲(ファイル)をランダムに演奏します。
Intro ： 曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏します。

4 (◁ I◀◀) または (▶▶I ▷) を押して再生モードの項目を選ぶ

● リピート演奏の設定

Track： 演奏中の曲(ファイル)をくり返し演奏します。
表示窓に「♪RPT」が表示されます。
Folder*： 演奏中のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏します。
表示窓に「□RPT」が表示されます。
Disc： 演奏中のCD内の全ての曲(ファイル)をくり返し演奏します。
表示窓に「◎RPT」が表示されます。
Off： マガジン内の全CDをくり返し演奏します。

● ランダム演奏の設定

Folder*： 演奏中のフォルダ内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「□RND」が表示されます。
Disc： 演奏中のCD内の全曲(ファイル)をランダムに演奏します。
表示窓に「◎RND」が表示されます。
All： マガジン内の全CDをランダムに演奏します。
表示窓に「◎))RND」が表示されます。
Off： ランダム演奏を解除します。

● イントロスキャンの設定

Track： 演奏中のCDの全曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「♪INT」が表示されます。
Folder*： 全フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「□INT」が表示されます。
Disc： マガジン内の全CDの最初の曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「◎INT」が表示されます。
Off： イントロスキャンを解除します。

・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、I◀◀ボタンを押します。

5 OK BAND を押す

選んだ設定で演奏が始まります。

* 「Folder」を選べるのはMP3ディスクの演奏中のみです。

他の機器の音を聞く

準備
- LINE IN端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
➡別紙の取付説明書参照

1 SOURCE をくり返し押してソース(音源)を「LINE IN(ライン入力)」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります。(➡ ***12***ページ)

2 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉
- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELメニューの「VolAdjust(ソース間音量)」を選び、∨⏮/⏭∧ボタンを押して音量差を調節することができます(➡ ***45***ページ)。

画像データをダウンロードする

ダウンロードをする前に

付属のCD-ROM(イメージコンバーター＊)を使うと、ソース(音源)の再生音に合わせてお好みの画像を表示窓に表示させることができます。

＊ **イメージコンバーターとは**
JVCのオリジナルソフトウェアで、自作の映像を本機の表示窓に表示させるために、編集・加工することができます。

● CD-R/RWにお気に入りの画像を書き込む

1 イメージコンバーターをパソコンにインストールする

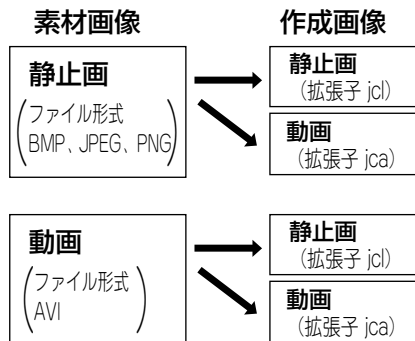
パソコンに、付属のCD-ROMを入れてインストールします。

2 イメージコンバーターを起動させる

3 素材画像を読み込む

この画像を編集・加工して行きます。静止画または動画を素材画像として使うことができます。
画像は、次のようなメディアから手に入れることができます。
- Web(JVCのホームページなどより)
- デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどのオリジナル映像
- CD-ROMの画像集など

4 画像を作成する

素材画像の形式に関わらず、静止画または動画を作成することができます。

5 作成した画像に様々な効果を加える

各種の効果をつけたり文字の入力をすることができます。

6 CD-R/RWに画像を書き込む

- CD-R/RWへの書き込みについて詳しくは、お使いのライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。

⋮

- 作成したCD-R/RWを本機に入れ、静止画または動画をダウンロードします。

画像データをダウンロードする（つづき）

● ファイル名の拡張子は
静止画が<jcl>、動画が<jca>です。

● ダウンロードは
ソース（音源）が「CD」のとき操作できます。本機に付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/RWを入れてください。

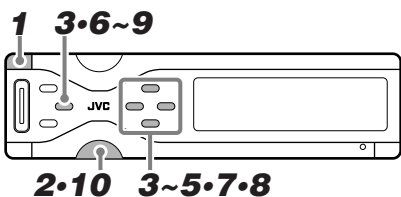
● ダウンロードや画像の消去は
・運転中に操作しない
・途中でエンジンキーを「OFF」にしない
・本機で他の操作をしない
事故の原因となったりダウンロードや画像の消去が正しくできないことがあります。

● ダウンロードが終わるまでの時間
・静止画は、1フレーム当たり約10秒かかります。
・動画は55フレームで約1分かかります。

〈お知らせ〉
● リセットボタンを押したり、バッテリーの交換などで本機への電源が途切れてもダウンロードした画像は消去されません。

● ダウンロードした画像の楽しみかた

演奏中に BACK DISP を押してセミグラフィック表示やフルスクリーングラフィック表示にすると（***19***、***26***ページ）、ダウンロードした画像が表示されます。
動画の表示、選択した静止画の表示、静止画のスライドショー表示が選べます。
設定方法は***38***ページの「**ダウンロードした画像を表示する**」をご覧ください。

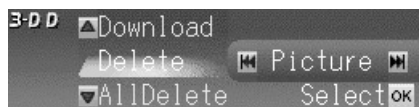
画像データをダウンロードする

1 付属のCD-ROM(アプリケーションソフト)を入れる(➡20ページ)

- 「Image(イメージ) Converter(コンバーター) Color(カラー)」と文字のある面を上にして入れます。
- フォルダ数とファイル数が表示され演奏が始まります。

2 [MENU]を押す

メインメニューが表示されます。

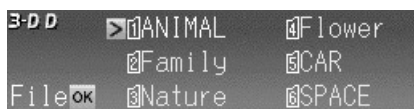
3 [▲][∨⏮][⏭∧][▼]を押して「3-D D」を選び、[OK BAND]を押す

3-D Dメニューが表示されます。

4 [▲]または[▼]を押して「Download」を選ぶ

5 [∨⏮]または[⏭∧]を押してダウンロードする画像の種類を選ぶ

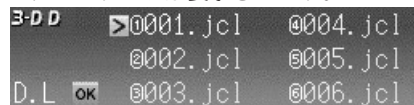
静止画をダウンロードするときは「Picture」、動画をダウンロードするときは「Movie」を選びます。

6 [OK BAND]を押す

「File Check」が表示されたあとフォルダリストが表示されます。このときCDからの演奏音は出なくなります。

7つ目以降のフォルダは
[∨⏮]または[⏭∧]を押して選びます。

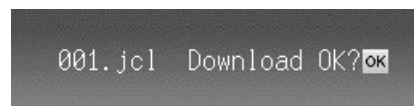
7 [▲]または[▼]を押してフォルダを選び、[OK BAND]を押す

ファイルリストが表示されます。

3-D D　>①001.jcl　②002.jcl　③003.jcl　④004.jcl　⑤005.jcl　⑥006.jcl　D.L OK

7つ目以降のファイルは
[∨⏮]または[⏭∧]を押して選びます。

8 [▲]または[▼]を押してファイルを選び、[OK BAND]を押す

確認画面が表示されます。

001.jcl　Download OK? OK

- 中止するときはMENUボタンを押して、手順2に戻ります。BACKボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

36ページに続く

画像データをダウンロードする（つづき）

9 を押す

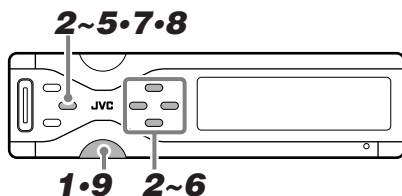
「PLEASE WAIT」と表示され、ダウンロードが始まります。この間、MENUボタン以外のボタン操作はできません。またディスクの演奏音も出ません。

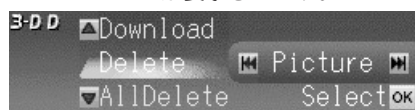
- ダウンロードを中止したいときは、MENUボタンを押します。
- ダウンロード中は車のエンジンキーを「OFF」にしないでください。
- **手順7で選んだファイル選択画面に戻るとダウンロードは終了です。**
- **同じフォルダから続けて画像をダウンロードするときは、手順8、9をくり返します。**
- **別のフォルダから続けて画像をダウンロードするときは、BACKボタンでフォルダ選択画面に戻り、手順7~9をくり返します。**

10 MENU を押してダウンロード作業を終了する

〈お知らせ〉
- ダウンロードする画像の種類を変えるときは、MENUボタンを押して手順3からあらためてダウンロードを行ってください。
- 「Movie」のとき、55以上のフレームを持つ動画は、55フレームまでを登録します。
- 「Picture」のダウンロードで静止画が18枚になると、これ以上は登録できません。19枚以上登録しようとすると、「Picture Full」が点滅して「ピッピッピッ」音が鳴ります。いらない静止画を削除してから登録します。
- **動作環境などによりダウンロードがうまくできないこともあります。このようなときは、ダウンロードをやり直してください。**

画像を削除する

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲▼◀◀ ▶▶ を押して「3-D D」を選び、OK BAND を押す

3-D Dメニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、画像を選んで削除するか、全画像を削除するかを選ぶ

- **画像を選んで削除するとき**
  「Delete」を選んで OK BAND **を押し**、手順**5**へ進みます。
- **全ての画像を削除するとき**
  「AllDelete」を選んで OK BAND **を押し**ます。
  「All File Delete OK?」と表示されます。
  OK BAND を押すと、全ての画像が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。

37ページに続く

画像を削除する(つづき)

4 [V|◀◀] または [▶▶|∧] を押して削除する画像の種類を選ぶ

- **動画を削除するとき**

  「Movie」を選んで OK/BAND を押します。
  「Delete OK?」と表示されます。
  OK/BAND を押すと、動画が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。
- **静止画を削除するとき**

  「Picture」を選んで OK/BAND を押し、手順*5*へ進みます。

5 [V|◀◀] または [▶▶|∧] を押して、削除または全静止画削除を選ぶ

- **リストから選んで静止画を削除するとき**

  「Delete」を選んで OK/BAND を押し、手順*6*へ進みます。
- **全ての静止画を削除するとき**

  「AllDelete」を選んで OK/BAND を押します。
  「All Picture Delete OK?」と表示されます。
  OK/BAND を押すと、全ての静止画が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。

6 [▲] または [▼] を押して消したい静止画を選ぶ

7つ目以降のファイルは
[V|◀◀] または [▶▶|∧] を押して選びます。

7 OK/BAND を押す

選んだファイル名と「Delete OK?」が表示されます。

```
001.jcl    Delete OK?OK
```

8 OK/BAND を押す

選んだファイルが削除されて、リストの表示に戻ります。

・削除を続けるときは、手順*6*、*7*をくり返します。

9 MENU を押す

ソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 画像を消去しているときは、各ボタンの操作やディスクの出し入れはできません。消去が終わってから操作してください。

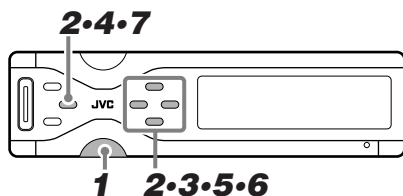
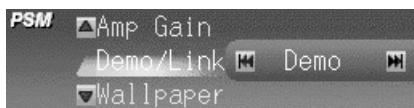
画像データをダウンロードする（つづき）

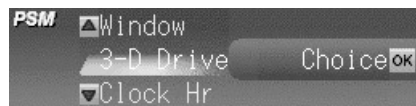
ダウンロードした画像を表示する

グラフィックスクリーンにダウンロードした画像を表示することができます。

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲/▼ を押して「PSM」を選び、OK BAND を押す

PSMメニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「3-D Drive」を選ぶ

4 OK BAND を押す

3-D Driveメニューが表示されます。

5 ▲ または ▼ を押して表示する画像の種類を選ぶ

- **静止画を表示するとき**
  「Picture」を選んで、手順***6***へ進みます。
  ・ダウンロードした静止画のうち、選んだ1枚が表示されます。
- **動画を表示するとき**
  「Movie」を選んで、手順***6***へ進みます。
  ・ダウンロードした動画が表示されます。
- **スライドショー表示をするとき**
  「Slideshow」を選んで、手順***7***へ進みます。
  ・ダウンロードした静止画が順に表示されます。

6 「Picture」または「Movie」を選んだときは、∨|◀◀ または ▶▶|∧ を押して表示する画像を選ぶ

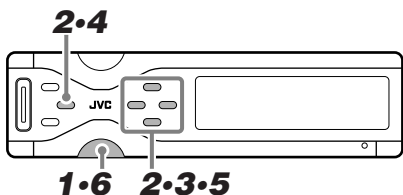
- 「Default」を選ぶと、工場出荷時の画像が表示されます。

7 OK BAND を押して終了する

演奏中に BACK DISP を押してグラフィック表示にすると、設定した画面が表示されます。

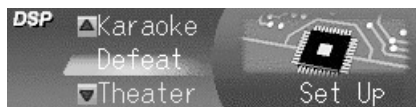
音質の調節

DSPモードを選ぶ

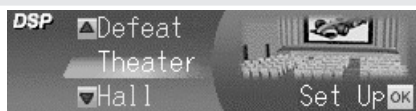
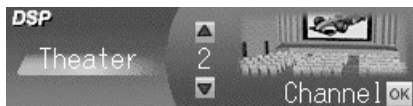
ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選ぶと、劇場や演奏会場の雰囲気が再現されます。

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 を押して「DSP」を選び、OK BAND を押す

DSPメニューが表示されます。

3 または を押してDSPモードを選ぶ

各モードの設定について、詳しくは右の「DSPの音場について」をご覧ください。

4 OK BAND を押す

5 または を押して効果レベルを選ぶ

選んだDSPモードの効果レベルを「1」「2」「3」から選びます。数字が大きくなると効果が大きくなります。
効果レベルは「Defeat」または「Karaoke」以外のモードでえらべます。

・ 効果レベルを選んだ後に OK BAND を押すと、さらに細かいDSPモードの設定ができます。詳しくは***40***ページの「DSPのモードを詳細に調節する」をご覧ください。

6 MENU を押して終了する

DSPの音場について

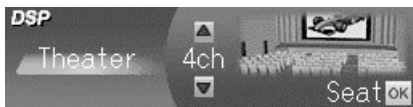
Theater(シアター)	:映画音楽、ビデオソフトの音声
Hall(ホール)	:大規模なホールでのライブ盤
Club(クラブ)	:ロックバンドの演奏
Dome(ドーム)	:ドーム球場などのライブ盤
Studio(スタジオ)	:録音スタジオのライブ盤
Karaoke(カラオケ)	:歌入りの曲をカラオケにするとき(ボーカルキャンセル)
Defeat(ディフィート)	:入力された音がそのまま出力されます。**DSP**モードを「切」にしたいときはこれを選びます。

音質の調節(つづき)

DSPのモードを詳細に調節する

1 「DSPモードを選ぶ」(➡39ページ)の手順1～5を行い、OK BANDを押す

DSPのモードは「Defeat」「Karaoke」以外を選びます。

2 ▲ または ▼ を押してスピーカーのチャンネル数を選び OK BANDを押す

- スピーカーが4つのとき
  「4ch」を選びます。
- スピーカーが2つのとき
  「2ch」を選びます。

3 ◁◀◀ または ▶▶▷ を押してリスニングポジションを選ぶ

All(オール) ：全座席で聞くとき
Front(フロント) ：フロントの左右両座席で聞くとき
R. Front(フロント) ：フロント右側の座席だけで聞くとき
L. Front(フロント) ：フロント左側の座席だけで聞くとき

4 手順2で「4ch」を選んだ場合、▲ または ▼ を押して車のサイズを選ぶ

Middle(ミドル) ：フロントスピーカーとリアスピーカーがリスニングポジションからほぼ等距離にあるとき
Large(ラージ) ：フロントスピーカーよりリアスピーカーのほうがリスニングポジションから遠いとき
Compact(コンパクト) ：フロントスピーカーよりリアスピーカーのほうがリスニングポジションに近いとき

5 MENU を押して終了する

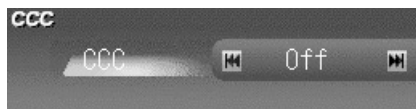
CCコンバーターを使う

CCコンバーターを使うと、より原音に近い自然な音が楽しめます。

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ∨⏮ ⏭∧ を押して「CCC」を選び、OK BAND を押す

CCCメニューが表示されます。

3 ∨⏮ または ⏭∧ を押して「On」を選ぶ

4 MENU を押して終了する

演奏中、表示窓に「CCC」が表示されます。

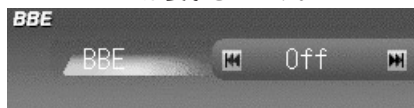
・ CCコンバーターを「切」にするには、手順***3***で「Off」を選びます。

BBEを使う

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ∨⏮ ⏭∧ を押して「BBE」を選び、OK BAND を押す

BBEメニューが表示されます。

3 ∨⏮ または ⏭∧ を押してBBEの効果レベルを調節する

数字が大きいほど効果は大きくなります。

●初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BBE	Off	Off、1～3

4 MENU を押して終了する

演奏中、表示窓に「BBE」が表示されます。

・ BBEを「切」にするには、手順***3***で「Off」を選びます。

●BBEデジタルについて

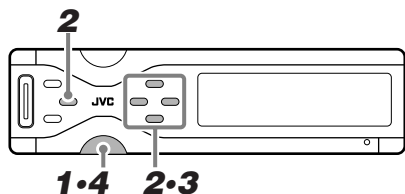
BBE® DIGITAL

BBEシステムは、音楽信号が回路を通過するときに発生する高周波成分の時間遅延・振幅の狂いを、位相補正と高域ブーストの組み合わせにより修復し、原音の波形に極めて近いものに戻します。このBBEシステムをデジタル処理することにより、さらに精密で理想的なBBEシステムの処理が可能となります。

- この製品はBBE Sound, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
- この製品は米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP4638258、5510752及び5736897を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

iEQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ9のEQパターンがメモリーされています。
「User 1」〜「User 3」には、お好みのEQパターンが設定できます。

●選択可能なEQパターン

· Flat	:	フラットな音で出力されます
· Hard Rock	:	ハードロック
· R&B	:	リズム&ブルース
· Pop	:	ポップス
· Jazz	:	ジャズ
· Dance	:	ダンスミュージック
· Country	:	カントリーミュージック
· Reggae	:	レゲエ
· Classic	:	クラシック
· User 1 · User 2 · User 3	:	ユーザー設定

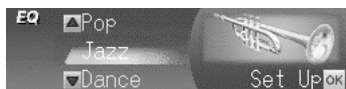
1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ⏮ ⏭ を押して「EQ」を選び、OK BAND を押す

EQメニューが表示されます。

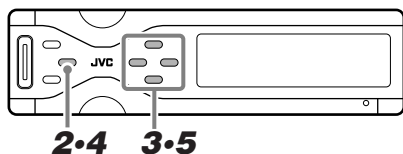
3 ▲ または ▼ を押してEQパターンを選ぶ

例:「Jazz」を選んだとき

4 MENU を押して終了する

〈お知らせ〉

- User 1〜User 3には、ご自分で調節したEQのバンドとレベルがメモリーできます(➡ ***43***ページ)。
  お買い上げ時はFlatと同じEQパターンになっています。
- Flat〜Classicには、調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFlatと同じEQパターンに戻ります。
- DSPモード(➡ ***39***ページ)で「Karaoke」を選んでいるときは、「Fix」と表示され、EQパターンは選べません。

* iEQとは:
intelligent Equalizer(インテリジェント イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

調節したEQを記憶(メモリー)する

1 調節したいEQパターンを選ぶ

42 ページ手順 **1**～**3** 参照

2 OK BAND を押してEQの調節モードにする

・以下の項目が調節できます。

バンド	EQレベル
60 Hz	-05～00～+05
150 Hz	-05～00～+05
400 Hz	-05～00～+05
1 kHz	-05～00～+05
2.4 kHz	-05～00～+05
6 kHz	-05～00～+05
12 kHz	-05～00～+05

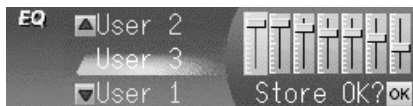
3 EQを調節する

3-1 ∨I◀◀ または ▶▶I∧ を押してバンド(60Hz、150Hz、400Hz、1kHz、2.4kHz、6kHz、12kHz)を選ぶ

3-2 ▲ または ▼ を押してEQレベルを調節する(-05～00～+05)

3-3 手順**3-1**～**3-2**をくり返す

4 OK BAND を押す

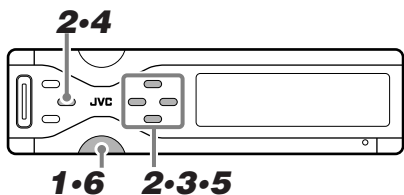
調節したEQのバンドとレベルをメモリーする確認画面になります。

・取り消すときは、BACK DISP ボタンを押します。

5 ▲ または ▼ を押してメモリーしておくパターン(User 1～User 3)のいずれかを選ぶ

「Memory」が表示され、調節したEQのバンドとレベルがメモリーされます。

音量の調節

スピーカーの音量を調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調節します。

1 MENU を押す

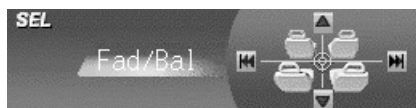
メインメニューが表示されます。

2 ▲ ◀ ▶ ▼ を押して「SEL」を選び、OK BAND を押す

SELメニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「Fad/Bal」を選ぶ

4 OK BAND を押す

フェーダー/バランスの調節画面が表示されます。

5 ▲ または ▼ を押してフェーダーを調節する
◀ または ▶ を押してバランスを調節する

▲ ： リアの出力が下がる
▼ ： フロントの出力が下がる
◀ ： 右チャンネルの出力が下がる
▶ ： 左チャンネルの出力が下がる

6 MENU を押して終了する

〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。

サブウーハーの音量を調節する

1 MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ◀◀ ▶▶ を押して「SEL」を選び、OK BAND を押す

SELメニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「Sub Out」を選び、OK BAND を押す

サブウーハーの調節画面が表示されます。

4 ▲ ▼ ◀◀ ▶▶ を押してサブウーハー出力とカットオフ周波数を調節する

▲ または ▼：カットオフ周波数を切り換える

◀◀ または ▶▶：サブウーハーの出力を調節する

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
サブウーハー出力	4	0〜8
カットオフ周波数	Mid (85Hz)	Low/Mid/High (55Hz/85Hz/115Hz)

5 MENU を押して終了する

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

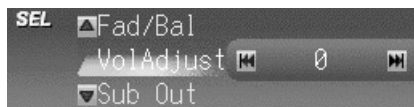
1 調節したいソース(音源)を選んでから MENU を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲ ▼ ◀◀ ▶▶ 押して「SEL」を選び、OK BAND を押す

SELメニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「VolAdjust(ボリュームアジャスト)」を選ぶ

音量差調節画面が表示されます。

4 ▲ または ▼ を押して音量を調節する

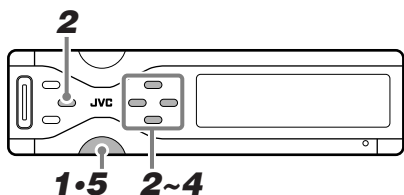
	初期設定	調節範囲
VolAdjust	0	−5〜+5

5 MENU を押して終了する

〈お知らせ〉

- VolAdjust(ソース間音量)は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのとき、または交通情報を聞いているときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。

PSMの各種設定と調節

PSMメニューの設定方法

〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMメニューの一覧

メニュー表示		設定値	初期設定	参照ページ
Demo/Link	デモ/リンク設定	Demo ↔ MusicLink ↔ Off	Demo	***48***
WallPaper	背景画像設定	Standard1 ↔ Standard2 ↔ Standard3	Standard1	***48***
Window	ウインドウ設定	Window1 ↔ Window2 ↔ Window3 ↔ Window4	Window1	***48***
3-D Drive	ユーザー画像設定	Picture ↔ Slideshow ↔ Movie	Picture	***38***
Clock Hr	時計設定(時)	戻す ↔ 進める	1 (1:00AM)	***13***
Clock Min	時計設定(分)	戻す ↔ 進める	00 (1:00AM)	***13***
24H/12H	時計設定(24/12表記)	12Hours ↔ 24Hours	12Hours	***13***
Scroll	スクロール設定	Once ↔ Auto ↔ Off	Once	***48***
Dimmer	ディマー設定	Auto ↔ Off ↔ On	Auto	***48***
Bright	ブライトネス	1～8	8	***49***
ID3 Tag	タグ表示設定	Off ↔ On	On	***49***
St. Area	チューナー設定	エリアナシ ↔ 北海道 ↔ … ↔ 沖縄	エリアナシ	***49***
IF Filter	IFフィルター設定	Wide ↔ Auto	Auto	***16***
Beep	キー入力音設定	Off ↔ On	On	***49***
Muting	ミューティング設定	Muting1 ↔ Muting2 ↔ Off	Off	***49***
Amp Gain	アンプ出力設定	HighPower ↔ LowPower ↔ Off	HighPower	***49***

PSMの各種設定と調節(つづき)

PSMメニューの機能説明(1)

Demo/Link(デモ/リンク設定)

表示窓のデモ表示と、ミュージックリンクを設定します。

- Demo　：20秒以上何も操作をしないとデモ表示*[1]になります。
- MusicLink　：MP3/WMAのフォルダから曲の演奏に合わせてお好みの静止画を表示することができます。
- Off　：デモ表示なし。

*[1] デモ表示について
花や景色、各種アニメーションなどを表示します。

WallPaper(背景画像設定)

演奏中の表示窓の背景を設定します。以下の3種類から選ぶことができます。

- Standard1：

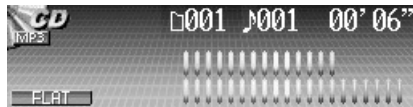
- Standard2：

- Standard3：

Window(ウインドウ設定)

表示窓がウインドウ表示になっているときに表示されるレベルメーターや画像を設定します。以下の4種類から選ぶことができます。

- Window1：

- Window2：

- Window3：

- Window4：

Scroll(スクロール)

表示窓の文字表示(16文字以上)がスクロール表示されるときのモードを変えることができます。

- Once：名前表示を切り換えたとき1回スクロールする。
- Auto：一定間隔でスクロールをくり返す。
- Off　：DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

放送局名は、スクロール表示されません。

Dimmer(ディマー)

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変えることができます。

- Auto　：車両のライトを「ON」にすると変わります。車両によってはうまく働かないことがあります。
(本機の イルミネーションコントロール コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- Off　：変わりません。
- On　：常時暗くなります。

PSMメニューの機能説明(2)

Bright(ブライトネス)

表示窓の明るさを1～8の8段階で調節することができます。数字が大きいほど明るくなります。

ID3 Tag(タグ)

MP3/WMAディスクのTag表示を「オン/オフ」することができます。

- On　：Tag表示をする。
- Off　：Tag表示をしない。

St. Area(エリア)

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- エリアナシ　：放送局名は表示しません。
- 北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄：「ご利用の地域」を選んでください。

(地域ごとの放送局名は、「放送局名一覧」(➡ ***53***～***56***ページ)をご覧ください)

IF Filter(IFフィルター)

隣接妨害波の影響を軽減することができます。

- Auto　：隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。
- Wide　：通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

Beep(ビープ)

ボタン操作時の「ピッ」音を「オン/オフ」することができます。

- On　：ビープ音あり
- Off　：ビープ音なし

Muting(ミューティング)

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミューティング)することができます。

- Muting1：ミューティングコード(茶)を接続したあと、通常はこの位置で使います。ミューティングが「ON/OFF」することを確認してください。
- Muting2：Muting1ではミューティングが「ON/OFF」しないとき。ミューティングが「ON/OFF」することを確認してください。
- Off　：本機能を使用しないとき。またはMuting1/2ともミューティングが正しく動作しないとき、この位置にします。

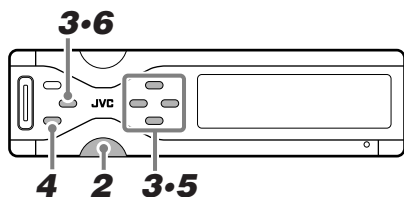
なお、ミューティングによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「Muting」が点滅表示されます。

Amp Gain(アンプゲイン)

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。また、本機をプリアンプとして使うこともできます。

- HighPower：スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき(Volume 0 ～ Volume 50)
- Low Power：スピーカーの最大入力が50W以下のとき(Volume 0 ～ Volume 30)
- Off　：内蔵のパワーアンプを使用しないとき(プリアンプとして使います)

文字の入力のしかた

30局分/最大16文字の放送局名と40枚分/最大32文字のディスク名、最大16文字のLINE INの名称を登録しておくことができます。

1 文字を入力したいソース（音源）を選ぶ

FM、AM、CD、CD-CH（CDチェンジャー）、またはLINE INのいずれかを選びます。

2 MENU を押す

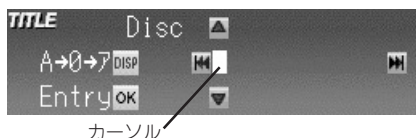
メインメニューが表示されます。

3 ▲ ◁I◀◀ ▶▶I▷ ▼ を押して「TITLE」を選び、OK BAND を押す

タイトル入力画面が表示されます。

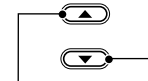
● 例：CDのとき

カーソル

4 BACK DISP を押して文字の種類を選ぶ

・文字の種類については***62***ページの「文字配列表」をご覧ください。

5 ▲ または ▼ で文字を選び、▶▶I▷ でカーソルを移動させて、文字を入力する

5-1 文字を選び…

5-2 カーソルを右に移す

順方向に進める

逆方向に戻す

カーソルを左に戻すときは ◁I◀◀ を押す

（***5-1***と***5-2***をくり返す）

・文字を間違えたときは、I◀◀ボタンでカーソルを戻し▲/▼ボタンで正しい文字を上書きします。スペース（空白）を選んで▶▶Iボタンを押すと、文字を消すこともできます。

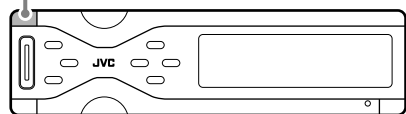
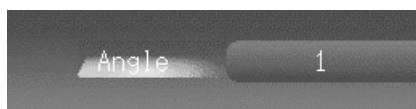
6 OK BAND を押して入力を確定する

● 入力した文字を確定するときは、必ずOKボタンを押してください。押さないと確定されません。

〈お知らせ〉

● CDテキスト、MP3/WMAディスクには、ディスク名の登録ができません。
● 31局目の放送局名または41枚目のディスク名を入力しようとしても、「Name Full」が表示されて入力モードに入ることはできません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
● 全てスペース（空白）を入力し、確定すると名称を削除することができます。
● 文字を入力したあとDISPボタンを2秒以上押すと、一括して消去することができます。このあと必ずOKボタンを押して確定してください。これにより削除されます。放送局名を入力していたときは、メーカープリセットの局名に戻ります。

コントロールパネルの角度を変える

コントロールパネルの角度を4段階に調節することができます。

1 ［≜/≑］を押し続け「Angle」と表示させる

2 ［≜/≑］を押してお好みの角度を選ぶ

ボタンを押すごとに、コントロールパネルの角度が右図のように変化します。

リモコンで操作する

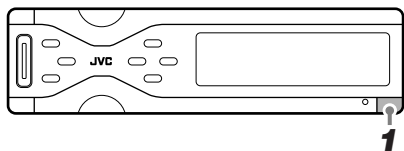
［ANGLE］をくり返し押して、お好みの角度を選びます。

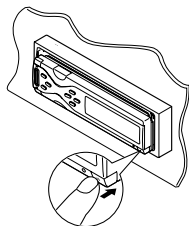
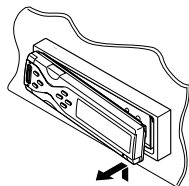
ご注意

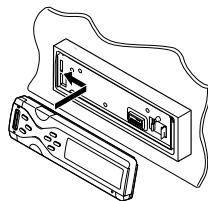
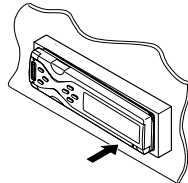
- コントロールパネルが動いているときに、本体との間に指などをはさまないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。
- 角度を変えて使っているとき、電源を「切」にすると、Angle 1 に戻ってから切れます。再び電源を「入」にすると、元の角度に戻ります。

コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

コントロールパネルを取り外すことができます。
コントロールパネルの角度を「Angle 1」にしてから操作します。（➡ ***51***ページ）

1 [⏏] を押す

コントロールパネルのロックが外れます。

2 コントロールパネルを少し持ち上げてゆっくり本体から外す

コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの左側を本体の内側の溝に合わせる

2 コントロールパネルの右側を静かに押して、本体に取り付ける

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	釧路	88.5MHz
北海道(AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	〃	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz

	放送局名	場所	周波数
東北地方(FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
東北地方(AM)	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
	東北放送	仙台	1,260kHz
	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	福島	1,602kHz
関東地方(FM)	インターFM	東京	76.1MHz
	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	三ッ峠	78.6MHz
	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

放送局名一覧（つづき）

地方	放送局名	場所	周波数
関東地方（FM）	J-WAVE	東　京	81.3MHz
	NHK-FM	前　橋	81.6MHz
	〃	横　浜	81.9MHz
	〃	東　京	82.5MHz
	〃	水　戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	横　浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
	FM群馬	前　橋	86.3MHz
関東地方（AM）	NHK第1	東　京	594kHz
	NHK第2	〃	693kHz
	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	〃	1,134kHz
	茨城放送	水　戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東　京	1,242kHz
	ラジオ日本	横　浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方（FM）	FM福井	福　井	76.1MHz
	FM新潟	新　潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Port	新　潟	79.0MHz
	K-MIX	静　岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM 長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高　山	80.0MHz
	FM 石川	金　沢	80.5MHz
	FM AICHI	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	富　山	81.5MHz
	〃	金　沢	82.2MHz
	〃	新　潟	82.3MHz
	〃	名古屋	82.5MHz
	FM とやま	富　山	82.7MHz
	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	福　井	83.4MHz
	〃	岐　阜	83.6MHz
	〃	長　野	84.0MHz
	〃	甲　府	85.6MHz
	〃	静　岡	88.8MHz

地方	放送局名	場所	周波数
中部地方（AM）	NHK第2	静　岡	639kHz
	NHK第1	富　山	648kHz
	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	富　山	738kHz
	YBSラジオ	甲　府	765kHz
	NHK第1	長　野	819kHz
	〃	新　潟	837kHz
	福井放送	福　井	864kHz
	NHK第1	静　岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
	NHK第1	福　井	927kHz
	〃	甲　府	927kHz
	NHK第2	富　山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長　野	1,098kHz
	北陸放送	金　沢	1,107kHz
	新潟放送	新　潟	1,116kHz
	NHK第1	金　沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金　沢	1,386kHz
	静岡放送	静　岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐　阜	1,431kHz
	NHK第2	長　野	1,467kHz
	〃	福　井	1,521kHz
	〃	新　潟	1,593kHz
	〃	甲　府	1,602kHz
近畿地方（FM）	FM CO·CO·LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋　賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫　路	77.6MHz
	FM 三重	津	78.9MHz
	FM 802	大　阪	80.2MHz
	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	京　都	82.8MHz
	〃	大　津	84.0MHz
	〃	和歌山	84.7MHz
	fm osaka	大　阪	85.1MHz
	NHK-FM	神　戸	86.5MHz
	〃	奈　良	87.4MHz
	〃	大　阪	88.1MHz
	α-STATION	京　都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神　戸	89.9MHz

地方	放送局名	場所	周波数
近畿地方(AM)	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	〃	828kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
中国地方(FM)	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島 FM	広島	78.2MHz
	FM 山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	山口	85.3MHz
	〃	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz
	〃	岡山	88.7MHz
中国地方(AM)	NHK第1	〃	603kHz
	〃	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	周南	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
	〃	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	山口	1,377kHz
	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	〃	1,494kHz
	AFN	岩国	1,575kHz
	NHK第2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM 香川	高松	78.6MHz
	FM 愛媛	松山	79.7MHz
	FM 徳島	徳島	80.7MHz
	FM 高知	高知	81.6MHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz
	NHK-FM	高松	86.0MHz
	〃	高知	87.5MHz
	〃	松山	87.7MHz
四国地方(AM)	高知放送	高知	900kHz
	NHK第1	徳島	945kHz
	〃	松山	963kHz
	〃	高知	990kHz
	NHK第2	高松	1,035kHz
	南海放送	松山	1,116kHz
	NHK第2	高知	1,152kHz
	四国放送	徳島	1,269kHz
	NHK第1	高松	1,368kHz
	西日本放送	〃	1,449kHz
	NHK第2	松山	1,512kHz
九州地方(FM)	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM 中九州	熊本	77.4MHz
	FM 佐賀	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM 鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	FM 福岡	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM 宮崎	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	長崎	84.5MHz
	〃	福岡	84.8MHz
	〃	熊本	85.4MHz
	〃	鹿児島	85.6MHz
	〃	北九州	85.7MHz
	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	宮崎	86.2MHz
	FM 大分	大分	88.0MHz
	NHK-FM	〃	88.9MHz
九州地方(AM)	NHK第1	宮崎	540kHz
	〃	鹿児島	576kHz
	〃	福岡	612kHz
	〃	大分	639kHz
	〃	長崎	684kHz
	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	〃	873kHz

放送局名一覧（つづき）

	放送局名	場所	周波数
九州地方（AM）	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	〃	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	大分	1,467kHz
	〃	宮崎	1,467kHz
	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄（FM）	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	〃	89.1MHz
沖縄（AM）	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	〃	864kHz
	NHK第2	〃	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症　　状	原　因　・　処　置
どのボタンを押しても表示が出ない。	●雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 ➡ コントロールパネルをいったん外し、取り付け直す。(➡ **52**ページ)
どのボタンを押しても正しく動作しない。	●雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 ➡ ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。(➡ **8**ページ) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
電源を切っても「ATT」が点滅表示する。	●⏻/I(電源)/ATTボタンを1秒以上押す。(➡ **12**ページ)
電源が入らない。	●電源(ACC.ライン)のコードが接続されていないため。 ●車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。(➡ **12**ページ)
CDの取り出しができない。(No Eject が点滅表示する)	●盗難防止状態になっている。 ➡⏻/I(電源)/ATTボタンを押したまま▲(CD取出し)/⇕ボタンを同時に2秒以上押す。(➡ **27**ページ)
CDを入れても音が出ない。	●音量を適度に調節する。 ●内部のレンズが結露(つゆつき)している。 ➡ラジオを聞くなどして1〜2時間待つ。 ●CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 ➡ディスクのマークを確認する。(➡ **20**ページ)
CD-R/RWディスクの再生やスキップ演奏ができない。	●ファイナライズ処理がされていないため。 ➡ ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピッ」音のあとCDが出てくる。	●CDが裏返しに入っている。 ➡文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
CDの出し入れのとき音が途切れる。	●この動作のときは、音声にミューティングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。

故障かな?と思う前に(つづき)

症　状	原因・処置
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	●CD-R/RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 ➡ラベルなどを張ったディスクは使用しない。(➡ 7ページ)
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	●アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ●オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の アンテナコントロール電源 コード(青)を正しく接続する。 ●車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 ➡ 本機の アンテナコントロール電源 コード(青)をこの端子に接続する。 ●放送局の周波数に正しく合わせる。 ●携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表　示	原因・処置
No Name	● ディスク名や曲名が記録されていない。 ➡ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていない。 ➡放送局名を入力する。
No Magazine	● マガジンが入っていないときソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたため。 ➡マガジンを入れる。
Not Support	● ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 ➡正しいフォーマットのファイルを含むディスクを入れる。
No Music	●フォルダにMP3/WMAファイルが含まれていない。 ➡MP3/WMAファイルを含むフォルダを選ぶ。 ●ディスクに＜jcl＞または＜jca＞のファイルしか記録されていない。 ➡MP3/WMAファイルを含むディスクを入れる。

表　示	原　因　・　処　置
Eject Error	●CDの取り出しができなかったため。 ➡CD挿入口の障害物を取り除き▲（CD取出し）ボタンを押す。

●CDチェンジャー

表　示	原　因　・　処　置
Reset 8	●CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 ➡CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
Reset ○（数字）	●CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 ➡CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶（メモリー）した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げ販売店**または別紙の**「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　持込修理

57〜59ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎(　　)　　ー

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- ●型式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- ●サンプリング周波数：44.1kHz
- ●チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- ●周波数特性：5Hz～20kHz
- ●ダイナミックレンジ：98dB
- ●SN比：102dB

チューナー部

- ●アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1（JASOプラグ仕様）

●FMチューナー部

- ●受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- ●実用感度：14.3dBf（1.43μV/75Ω）

●AMチューナー部

- ●受信周波数：522kHz～1,629kHz
- ●実用感度：27dBμ（22.4μV）

オーディオアンプ部

- ●最大出力：フロント　50W＋50W（4Ω、1kHz）
リア　50W＋50W（4Ω、1kHz）
- ●適合インピーダンス：4Ω（4Ω～8Ωで使用可能）
- ●入力端子：DINジャック×1
LINE IN（1系統）、1.5V/20kΩ
- ●出力端子：LINE OUT（2系統）、5.0V/1kΩ
：SUBWOOFER OUT（1系統）

電源部・その他

- ●電源電圧：DC14.4V（11V～16Vで使用可能）
マイナスアース車用
- ●取付寸法：幅178㎜×高さ50㎜×奥行158㎜
- ●外形寸法：幅178㎜×高さ50㎜×奥行179㎜
- ●質量：約1.7㎏（付属品含まず）

付属品

・リモコン(RM-RK300) 1
・電池(CR2025) 1
・CD-ROM(アプリケーションソフト) 1
・接続コード（16ピンコネクター） 1
・ネジ（M5×8㎜） 4
・皿ネジ（M5×8㎜） 4

別売りのオプション品

・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。（品番は変更されることがあります）

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
ー	゛	゜	(空白)						

●英大文字

(空白)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
T	U	V	W	X	Y	Z			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊
+	,	−	.	／	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。

索引

アルファベット

BBE 41
BTL 6
CCコンバーター 41
CD規格(CD-DA) 20
EQパターン 42
EQレベル 43
IFフィルター 16
Image Converter Color 35
ISO9660フォーマット 21
jca 34
jcl 34
LINE IN端子 32
MP3 20
PSM 46
RCA 32
SSM(ストロングステーション メモリー機能) 16
WMA 20

ア行

アンテナコントロール電源 14
アンテナリモート 14
イメージコンバーター .... 27、33
イントロスキャン .... 26、31
オート選局(シーク) 14
音楽用CDフォーマット 21

カ行

画像 33
カットオフ周波数 45

サ行

サーチ .... 22、29
サブウーハー出力 45
自動選局 16
出力バランス 44
スキップ .... 22、23、29
スクロール表示 48
スピーカーコード 6
全曲演奏 28

タ行

ダウンロード 33
ディスク名 .... 21、50
デモ表示 .... 表紙、48
盗難防止 27
道路交通情報 19

ハ行

バランス 44
バンド(チューナー) 14
バンド(EQ) .... 42、43
ヒューズ 6
ファイル 23
フェーダー 44
フォルダ 23
プリセット選局 18
フレーム 34
プレイリスト .... 24、30
放送局名 .... 19、50、53
放送局リスト 18

マ行

マニュアル選局 14
ミュージックリンク .... 27、48
メモリー .... 16、17、43

ラ行

ランダム演奏 .... 26、31
リピート演奏 .... 26、31
ルート 23

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 JVCカーオーディオお客様ご相談センター
別紙の 「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」 をご覧ください。	0120-977-846(フリーコール) FAX(027)254-8927 受付時間　10:00〜18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町1-10-1

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/
カーAV機器ホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/car/

JVC

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0804MOMMDWJEIN